

平成28年度 第2回岡山市特別職報酬等審議会 会議録（概要）

日 時：平成28年9月29日（木）10：04～11：55

場 所：岡山市議会 議会棟 3階第1会議室

出席者：委 員 泉会長、古市会長職務代理者、小松原委員、鶴身委員、永見委員、
西谷委員、山本委員、吉本委員

岡山市 渡辺人材育成・労務担当局長、眞茅議会事務局長、中村統括審議
監、吉川議会総務課長、福田給与課長 他

○開会

○資料の説明

○審議

【委員からの主な意見】

- ・この機会に議員活動の透明化を確立してほしい。岡山市が他都市に先駆けて一番厳しい事をやるのが重要。
- ・透明性の確保と金額をいくらにするのかは裏腹な関係。透明性の確保について視点が2つあり、岡山市の透明性のレベルがどのあたりかという視点と、市民目線に耐えられるか、市民への開示性は十分かといった視点がある。
- ・私たちが行動する時には立案し予算を見積りそれに対してお金を執行している。政務活動費の使い方においても立案してそれに対してお金を執行すると、より透明性が出る。
- ・政務活動費関係参考資料集で政務活動費を充てることができる経費項目と主な費目の一覧表を作っているが非常にわかりやすくできている。
- ・会派ごとに支出すると漠然と支出しているように見える。
- ・領収書をホームページで公開すれば、いつでも誰でも閲覧できる。
- ・多数の領収書を見ても我々はどういう活動をしているか全く見えない。第三者機関が見ても分からない場合がある。政務活動費を使ってどういうことをやったかという結果報告がいるのではないか。
- ・住民監査請求が他の政令市に比べて非常に多い。
- ・年間9千枚の領収書をチェックするだけでも事務局は大変だ。そこへもお金がかかり過ぎている。体制が非常に悪い。
- ・細かいことをチェックすることは第三者機関に任せたい。
- ・政務活動費と議員報酬を一本化し、議員の報酬を上げた方が早いのではないか。
- ・今の市議会議員の選挙の投票率を見ても市政への関心が薄らいでいる。
- ・岡山市の場合は人件費と事務所費と広報費が3大費用で、相模原、静岡、新潟、浜松といった同じ時期に政令市になった地方の政令市は調査研究費のウェイトが高い。
- ・政務活動費の金額を20万にしようが30万にしようが、自分たちの生活が豊かに

なり、岡山市がそれなりの街になり、必要だと思えば市民は惜しまない。

- ・市長からもらっている命題は金額について答申だが、金額がいくらという議論は全くやっていない。費用対効果の議論と、支出の透明性の確保の議論の2つが議論の対象となっている。
- ・参考までに岡山市の消費物価者指数で見ると平成4年度が95.0、平成27年度が99.0くらいで5ポイントくらい増えている。

○閉会